



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 ハリマ化成グループ株式会社  
コード番号 4410 URL <http://www.harima.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 長谷川 吉弘

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 金城 照夫

TEL 06-6201-2461

四半期報告書提出予定日 平成26年11月7日

配当支払開始予定日

平成26年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	40,990	13.8	795	143.1	288	△63.8	△214	—
26年3月期第2四半期	36,030	9.5	327	△26.2	798	—	△198	—

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 △713百万円 (—%) 26年3月期第2四半期 1,498百万円 (396.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	△8.25	—
26年3月期第2四半期	△7.67	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	70,451	30,727	41.2
26年3月期	70,471	31,465	42.2

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 29,013百万円 26年3月期 29,714百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
27年3月期	—	7.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	83,500	11.1	1,300	48.5	1,150	△55.9	△350	—	△13.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	26,080,396 株	26年3月期	26,080,396 株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	131,542 株	26年3月期	131,442 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	25,948,918 株	26年3月期2Q	25,949,121 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	4
4. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(5) セグメント情報等 .....	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10
参考資料 .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、欧州は、引き続き経済が低迷し、米国では、金融緩和の量的縮小への警戒があるものの景気は堅調に推移しています。中国等の新興国経済は成長の足踏みが続いています。一方、日本経済は消費税増税による耐久消費財の反動減から景気の下振れが懸念される状況となりました。

当社グループを取り巻く経営環境は、海外事業につきましては、欧米を主力市場とするローター社の業績が競合他社との競争により、厳しい状況で推移しましたが、円安の影響で海外売上高は増加しました。国内事業につきましては、円安により輸入原料価格が上昇したものの、主力原料のロジン関連材料が安定的に推移したこと、製品価格の見直しにより全体として収益は改善しました。

その結果、当社の当第2四半期連結累計期間の連結業績につきましては、売上高は409億9千万円となり、前年同四半期に比べ49億5千9百万円(13.8%)の増収となりました。

利益面では、営業利益は7億9千5百万円となり、前年同四半期に比べ4億6千8百万円(143.1%)の増益となりました。経常利益は、為替差損4億3千1百万円により2億8千8百万円となり、前年同四半期に比べ5億1千万円(63.8%)の減益、四半期純損失は2億1千4百万円と前年同四半期に比べ1千5百万円の損失増加となりました。

当社グループのセグメント別経営成績の概況は次の通りであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、当社グループの経営管理指標を経常利益から営業利益に変更したことに伴い、セグメント利益の測定方法を変更しております。以下の前年同四半期比較については、前年同四半期のセグメント利益を変更後のセグメント利益に置き換えて比較しております。

#### 樹脂化成品

国内の出版および商業印刷の低迷により、ロジンを原料とする印刷インキの減少が続くとともに、消費税増税後の反動減もあり、印刷インキ用樹脂の販売は前年同期に比べ減少しました。粘接着剤用樹脂は中国での拡販、国内ではアクリル粘着剤を中心に堅調に推移しました。塗料用樹脂は、建築外装用塗料が、夏場の天候不順などの影響で需要が低迷したことから前年同期比微減となりました。自動車タイヤ用合成ゴムの製造に使用される乳化剤は前年同期を上回り好調に推移しました。

その結果、当部門の売上高は、110億9千5百万円となり、前年同四半期に比べ9億1千5百万円(9.0%)の増収となりました。セグメント利益は6億5千6百万円と前年同四半期に比べ4億5千8百万円(231.0%)の増益となりました。

#### 製紙用薬品

国内の印刷情報用紙の生産量は消費税増税による反動減が続いていますが、板紙の生産量は前年同期比微増で推移したため、当社の国内製紙用薬品の販売は回復基調となりました。中国では、紙・板紙生産量はこれまでの成長力に陰りは見えるものの、業績は堅調に推移しました。米国では新規製品の販売が好調に推移しました。

その結果、当部門の売上高は、79億5千万円となり、前年同四半期に比べ7億5千2百万円(10.5%)の増収となりました。また、セグメント利益は原料値上がり製品価格への転嫁に取り組んだ結果、4億8千2百万円と前年同四半期に比べ2億2千1百万円(85.2%)の増益となりました。

#### 電子材料

当部門が関連する自動車業界の国内生産台数は、前年並みで推移しました。

一方、電子機器業界は7月以降の国内出荷が大幅に減少し、下げ止まりと言われた前年を更に下回りました。

このような環境下、当部門の売上高は自動車用熱交換器のろう付け材料は前年並みで推移したものの、新規開発商品の銅スルーホール用導電性ペーストと半導体用機能性樹脂が伸張したことから、25億9千7百万円となり、前年同四半期に比べ6千3百万円(2.5%)の増収となりました。セグメント利益は2億1千5百万円と前年同四半期に比べ3千2百万円(17.5%)の増益となりました。

#### ローター

当部門の主要製品である印刷インキ用樹脂は、南米、アジアでは堅調に推移したものの、主力市場である欧米の落ち込みが続きました。

一方、粘接着剤用樹脂は、欧州、アジア、オセアニアで堅調に推移しました。

その結果、当部門の売上高は為替影響もあり185億9千2百万円で、前年同四半期に比べ33億5千9百万円(22.1%)の増収となりました。収益面では財務体質の改善などに努めましたが、セグメント損失は2億6千1百万円と前年同四半期に比べ5千9百万円の悪化となりました。

### (2)連結財政状態に関する定性的情報

当連結会計年度の総資産は前期末に比べ2千万円の減少となりました。自己資本比率は41.2%となりました。増減の主なものは、流動資産では現金及び預金が14億8百万円減少し、原材料仕入の増加に伴い原材料及び貯蔵品が12億5千1百万円増加しました。負債では短期借入金を長期借入金に借換えため、短期借入金が40億5千1百万円減少し、長期借入金が55億2千4百万円増加しております。

### (3)連結業績予想に関する定性的情報

世界経済は、緩やかながらも上昇すると見込まれますが、米国景気の一時的な落ち込みや、一部新興・途上国の成長鈍化、中東情勢などを巡る地政学的リスクなど不透明な状況が続いております。日本においては、円安進行による輸出環境の改善や政府の経済対策効果への期待などにより、企業業績は回復の兆しが見えるものの、当社グループにおきましては円安による原料価格の上昇など不透明な事業環境が続くことが見込まれます。

このような環境下、海外売上高比率が50%を超える当社グループは、グローバルに展開した拠点網を活かし、世界各地域の経営環境や顧客ニーズの変化を的確に捉え、業績回復に全力で取り組んでまいります。

なお、当期(2014年4月1日から2015年3月31日)の通期の業績予想につきましては、本日(2014年10月31日)付で開示しております「第2四半期連結累計期間業績予想と実績との差異、為替差損の計上および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」で数値を修正しております。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### 会計方針の変更

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を、割引率決定の基礎となる債券の期間について、従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付関係基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が320百万円減少し、利益剰余金が204百万円増加しております。また、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2014年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2014年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,635,671	5,227,453
受取手形及び売掛金	20,133,016	20,101,392
商品及び製品	5,798,625	5,888,314
原材料及び貯蔵品	5,281,258	6,532,851
その他	3,425,988	3,394,651
貸倒引当金	106,848	109,800
流動資産合計	41,167,712	41,034,863
固定資産		
有形固定資産		
土地	10,174,483	10,115,895
その他(純額)	12,873,421	12,510,706
有形固定資産合計	23,047,904	22,626,601
無形固定資産		
その他	943,649	982,386
無形固定資産合計	943,649	982,386
投資その他の資産		
その他	5,326,942	5,822,117
貸倒引当金	14,915	14,915
投資その他の資産合計	5,312,026	5,807,201
固定資産合計	29,303,581	29,416,188
資産合計	70,471,293	70,451,052

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2014年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2014年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,914,452	10,031,850
短期借入金	12,715,487	8,664,053
1年内返済予定の長期借入金	1,796,392	1,143,786
未払法人税等	483,161	540,421
役員賞与引当金	8,630	22,730
その他	3,811,694	4,082,858
流動負債合計	28,729,818	24,485,700
固定負債		
長期借入金	5,364,376	10,889,189
長期預り保証金	848,985	821,531
役員退職慰労引当金	493,764	377,641
資産除去債務	46,676	46,994
退職給付に係る負債	1,668,583	1,351,671
その他	1,853,107	1,750,687
固定負債合計	10,275,493	15,237,715
負債合計	39,005,311	39,723,416
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,012,951	10,012,951
資本剰余金	9,744,379	9,744,379
利益剰余金	9,659,326	9,468,026
自己株式	62,091	62,138
株主資本合計	29,354,565	29,163,219
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	901,660	1,098,165
為替換算調整勘定	5,529	754,402
退職給付に係る調整累計額	536,351	493,137
その他の包括利益累計額合計	359,779	149,374
少数株主持分	1,751,636	1,713,791
純資産合計	31,465,982	30,727,636
負債純資産合計	70,471,293	70,451,052



(2)四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2013年4月1日 至2013年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2014年4月1日 至2014年9月30日)
売上高	36,030,555	40,990,505
売上原価	29,366,673	33,622,062
売上総利益	6,663,882	7,368,443
販売費及び一般管理費	6,336,604	6,572,752
営業利益	327,277	795,690
営業外収益		
受取利息	24,641	17,907
受取配当金	31,930	34,300
不動産賃貸料	63,488	64,019
為替差益	416,685	-
その他	154,772	136,360
営業外収益合計	691,518	252,588
営業外費用		
支払利息	164,448	177,424
為替差損	-	431,728
その他	55,348	150,216
営業外費用合計	219,796	759,369
経常利益	798,999	288,909
特別利益		
保険解約返戻金	142,148	-
特別利益合計	142,148	-
特別損失		
固定資産売却損	425,702	-
減損損失	54,226	-
特別損失合計	479,928	-
税金等調整前四半期純利益	461,218	288,909
法人税、住民税及び事業税	586,284	414,741
法人税等調整額	19,784	1,725
法人税等合計	606,068	413,015
少数株主損益調整前四半期純損失( )	144,849	124,106
少数株主利益	54,105	89,976
四半期純損失( )	198,954	214,083

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2013年4月1日 至 2013年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失( )	144,849	124,106
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	298,196	196,494
為替換算調整勘定	1,345,318	830,435
退職給付に係る調整額	-	44,253
持分法適用会社に対する持分相当額	11	11
その他の包括利益合計	1,643,527	589,676
四半期包括利益	1,498,677	713,783
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,304,334	723,237
少数株主に係る四半期包括利益	194,343	9,454

(3)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2013年4月 1日 至 2013年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2014年4月 1日 至 2014年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	461,218	288,909
減価償却費	1,061,751	1,260,441
減損損失	54,226	-
のれん償却額	53,114	43,607
貸倒引当金の増減額(は減少)	29,995	5,337
受取利息及び受取配当金	56,571	52,207
支払利息	164,448	177,424
為替差損益(は益)	442,783	365,232
持分法による投資損益(は益)	12,858	26,678
有形固定資産売却損益(は益)	425,974	9,013
売上債権の増減額(は増加)	477,349	326,430
たな卸資産の増減額(は増加)	15,916	1,625,463
仕入債務の増減額(は減少)	510,963	332,379
役員賞与引当金の増減額(は減少)	21,580	14,100
その他	465,114	185,838
小計	2,239,221	279,825
利息及び配当金の受取額	62,940	62,261
利息の支払額	169,924	173,112
法人税等の支払額	649,172	341,645
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,483,064	172,671
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	849,424	767,724
有形固定資産の売却による収入	290,554	549
投資有価証券の取得による支出	155,871	524,167
投資有価証券の売却による収入	229,600	17,128
貸付金の回収による収入	295	494
その他	257,140	174,105
投資活動によるキャッシュ・フロー	227,706	1,447,826
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(は減少)	699,323	4,182,749
長期借入れによる収入	100,000	6,700,000
長期借入金の返済による支出	905,101	1,826,652
配当金の支払額	181,644	181,642
少数株主への配当金の支払額	45,186	43,968
預り保証金の返還による支出	68,611	27,454
その他	31,918	36,365
財務活動によるキャッシュ・フロー	433,137	401,167
現金及び現金同等物に係る換算差額	389,343	188,572
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	1,211,563	1,407,902
現金及び現金同等物の期首残高	3,470,503	6,630,263
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,682,067	5,222,360

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

前第2四半期連結累計期間(自 2013年4月1日 至 2013年9月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	樹脂化成品	製紙用薬品	電子材料	ローター	計				
売上高									
(1) 外部顧客に対する売上高	10,180,529	7,197,961	2,533,422	15,232,751	35,144,665	885,901	36,030,567	11	36,030,555
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	109,494	348,592	-	125,024	583,111	66,009	649,120	649,120	-
計	10,290,023	7,546,554	2,533,422	15,357,776	35,727,776	951,911	36,679,687	649,132	36,030,555
セグメント利益又は損失( )	198,370	260,480	183,437	202,257	440,031	17,887	457,919	130,641	327,277

当第2四半期連結累計期間(自 2014年4月1日 至 2014年9月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	樹脂化成品	製紙用薬品	電子材料	ローター	計				
売上高									
(1) 外部顧客に対する売上高	11,095,977	7,950,310	2,597,404	18,592,395	40,236,087	777,909	41,013,997	23,491	40,990,505
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	93,663	330,299	-	94,475	518,437	83,574	602,012	602,012	-
計	11,189,640	8,280,610	2,597,404	18,686,870	40,754,525	861,484	41,616,009	625,503	40,990,505
セグメント利益又は損失( )	656,565	482,345	215,544	261,921	1,092,534	75,097	1,167,631	371,940	795,690

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に「不動産管理事業」等を含んでおります。

(注2) セグメント利益又は損失( )の調整額は、棚卸資産の調整額等が含まれております。

(注3) セグメント利益又は損失( )は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、当社グループの経営管理指標を経常利益から営業利益に変更したことに伴い、セグメント利益の測定方法を変更しております。

当該変更は、近年の海外売上高比率の増加を契機に海外子会社を含む評価指標をグローバルで統一し、各セグメントで管理できない為替変動等の損益を除いた、本業の収益力での成果を測定するために行ったものであります。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後のセグメント利益に基づき作成したものを開示しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

2015年3月期 第2四半期決算短信  
別紙ご参考資料

1. 設備投資額

	2014/3期		2015/3期	
	第2四半期(実績)	通期(実績)	第2四半期(実績)	通期(計画)
連結	8.2億円	19.5億円	10.2億円	20.0億円

2. 減価償却実施額

	2014/3期		2015/3期	
	第2四半期(実績)	通期(実績)	第2四半期(実績)	通期(計画)
連結	10.6億円	21.4億円	12.6億円	25.0億円

3. セグメント別売上高

	2014/3期		2015/3期	
	第2四半期(実績)	通期(実績)	第2四半期(実績)	通期(計画)
樹脂化成品	101.8億円	212.2億円	110.9億円	226.0億円
製紙用薬品	71.9億円	148.3億円	79.5億円	175.0億円
電子材料	25.3億円	52.3億円	25.9億円	56.0億円
ローター	152.3億円	322.3億円	185.9億円	362.0億円
その他	8.8億円	16.4億円	7.7億円	16.0億円
調整額	0.2億円	0.0億円	0.2億円	0.0億円
合計	360.3億円	751.7億円	409.9億円	835.0億円

4. 海外売上高

	2014/3期		2015/3期	
	第2四半期(実績)		第2四半期(実績)	
	金額	比率	金額	比率
南北アメリカ	74.8億円	20.8%	85.5億円	20.9%
アジア	45.3億円	12.6%	52.7億円	12.9%
欧州他	86.2億円	23.9%	104.6億円	25.5%
合計	206.4億円	57.3%	242.8億円	59.3%